

# 広報 ひろば **たいせつ**

## 12月号目次

- P 2～3 … 令和元年産 米の作柄と次年度に向けて
- P 4 …… 主要野菜の発育経過と病害虫の発生状況について
- P 5～7 … たいせつHOTニュース
- P 8 …… JAグループ通信
- P 9～11 … 総務部からのお知らせ
- P 12～13 … 金融課からのお知らせ
- P 14 …… 理事会・監事会からのご報告・たいせつのあゆみ  
たいせつ農産物直売所からのお知らせ



11月15日 JA たいせつ女性部鷹栖支部部員交流会  
型抜きパウダーマグネット作りを行いました。

ホームページURL <http://www.jataisetu.or.jp/>

## 上川農業改良普及センター

### 1 水稻の生育経過 (表1)

生育期	R1	平成	遅速	
出芽期	4/23	4/26	早3	
活着期	5/26	5/27	早1	
分げつ始	6/1	6/2	早1	
幼穂形成期	6/24	6/27	早3	
止葉期	7/11	7/12	早1	
出穂	始	7/19	7/20	早1
	期	7/24	7/25	早1
	揃	7/28	7/29	早1
成熟期	9/12	9/11	遅1	

注) 品種: ななつぼし  
育苗様式: 成苗ポット

表1 作業期節と生育期節の推移 (普及センター生育調査ほ)

作業期節等	R1	平成	遅速	
融雪期	4/14	4/11	遅3	
耕起盛期	5/2	5/3	早1	
は種	始	4/16	4/16	±0
	期	4/19	4/20	早1
	終	4/25	4/25	±0
移植	始	5/17	5/19	早2
	期	5/22	5/24	早2
	終	5/27	5/29	早2
収穫	始	9/15	9/16	早1
	期	9/25	9/24	遅1
	終	10/4	10/4	±0

小雨で経過したため、水田の乾きは良好となり、耕起盛期は平成より1日早い5月3日となりました。

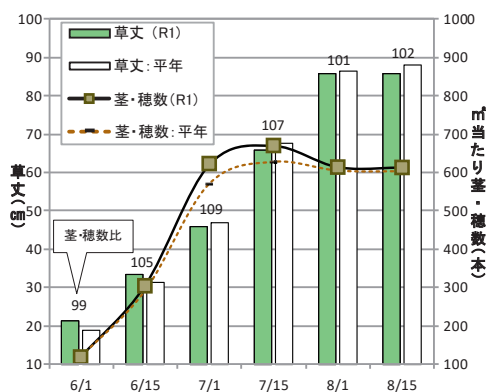
### (2) 移植・出穂

移植期は平成より2日早い5月22日となりました。移植時の強風により一部で葉の傷みが見られましたが、根の活着は良好でした。6月は平成よりも高温で推移し、日照時間は平成並で推移しました。その結果、6月15日の生育調査では茎数が平成比105%となりました。(図1) また、幼穂形成期は平成より3日早い6月24日となりました。

7月に入っても高温条件は続き、幼穂形成期以降にも茎数の増加が見られ、7月15日での調査では茎数は平成比107% (図1) になりました。遅発分けつが有効化した結果、やや生育は停滞し、止葉期は7月13日、出穂期は7月25日と平成より1日早い状況で推移しました。遅発分けつの有効化により、穂揃いは悪くなりました。これは、育苗期間中の高温により感温性の高い品種では早期異常出穂の元となる主茎の幼穂形成が早まる現象が生じたためです。また、十分な生育量を確保せずに幼穂形成期になり穂数が少ないほ場もありました。

(1) 融雪・育苗期  
本年は融雪が平成より3日遅くなりましたが、4月中旬以降は好天により苗床が乾き、は種期は平成より1日早い4月19日となりました。その後、温度条件に恵まれ、出芽期は平成より3日早い4月23日となりました。苗床での生育は順調であったものの、5月中旬以降は高温・多照条件が続き、苗の徒長や老化が散見されました。4月中旬以降は多照・

図1 草丈と茎・穂数の推移 (普及センター生育調査ほ 右横軸: 茎・穂数、左横軸: 草丈)



### (3) 登熟状況と収穫

開花受精以降、登熟期間初期の7月6半旬は高温で推移しましたが、登熟期間中期の8月はやや低温で推移しました。9月上旬には真夏並の暑さとなり、以降は平成並の気温となったものの、降雨が多く、穂揃いが悪いこともあり、出穂期から成熟期までの登熟期間は平成より2日長い50日間を要しました。

8月下旬からの降雨が影響し、成熟期は平成より1日遅い9月12日となりました。それに伴い収穫期は平成より1日遅い9月25日となりました。玄米品質では乳白・腹白粒が多く発生しました。未熟粒は昨年よりもやや少なかったものの発生したほ場が多く散見されました。これは穂揃いの悪化による遅れ穂が影響したと考えられます。(表2)

表2 平成29～令和元年度産水稻の玄米品位の状況 (北海道農政事務所)

区分	整粒	未熟粒	乳白粒・腹白粒①	被害粒	死米・着色粒②	①+②
R1	65.2	26.8	4.7	8.1	1.3	6.0
H30	64.9	29.0	3.7	6.2	1.0	4.7
H29	66.9	28.7	5.1	4.5	1.2	6.3

※ふるい目幅 1.85mm 以上

単位: %

### (4) 病害虫の発生状況

移植後に見られる「イネドロオイムシ」は発生量が少ない一方で、「カメムシ」は発生期が早く、発生量も多くなり、一部では被害粒の被害が見られました。「いもち病」は適切な防除が実施されたため、減収等の被害は発生が確認されませんでした。出穂始頃の多雨・強風により褐変穂や葉鞘褐変が散見されましたが、品質への影響はほとんどありませんでした。近年発生が目立つ疑似紋枯症状は高温条件が続いたことも影響し、初発が早く7月3半旬以降散見され、一部で倒伏が発生するほ場もありました。疑似紋枯症状は増加傾向ですので、今後も注意が必要です。



## 2 水稲作柄の概況

農林水産省北海道農政事務所によると、10月15日現在における、予想収量は上川管内で583kg/10a(1・85mmのふるい目幅)・作況指数105の「やや良」と見込まれています。普及センターが旭川市東鷹栖と鷹栖町で実施した稔実調査結果では、 $m^2$ 穂数は昨年より多くなったものの、穂揃いが悪く、一穂 $m^2$ 穂数が少なくなった結果、 $m^2$ 総穂数は昨年並の102となりまし

表3 稔実調査結果(旭川市東鷹栖・鷹栖町ほ場調査)

品 種	サンプル数	$m^2$ 株数 A	株穂数 B	稔実 $m^2$ 数	$m^2$ 株数 C=A×B	1穂 $m^2$ 数 D	稔実歩合	不稔歩合 E	$m^2$ 総穂数 F=C×D	$m^2$ 稔実 $m^2$ 数 G=F×(100-E)/100
ななつぼし	8	21.5	29.4	33,561	633	57.0	93.8	6.2	36,035	33,799
きらら397	8	21.4	29.9	34,653	640	57.4	95.4	4.6	36,702	35,014
ゆめぴりか	8	22.0	30.1	33,649	662	53.7	94.7	5.3	35,553	33,671
平年比(%)					112.8	90.7	99.8	167.7	102.2	99.5

※平年値：H26～H30の平均値(旭川市東鷹栖・鷹栖町)

## 3 次年度に向けて

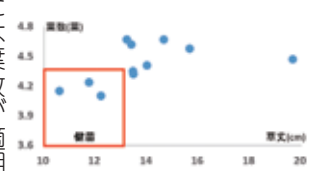
### ・健苗育成

近年では4月から5月にかけて気温が高く、早期異常出穂が発生しやすい状況です。早期異常出穂は、2・5葉以降に25℃以上の高温環境下、または葉数が適期を超える場合や育苗日数が長くなると発生する可能性が高まりますので、育苗日数の再検討を行います。ゆめぴりかであれば、葉数は3・6葉〜4・3葉が移植適期ですが、現場では4・4葉を超える苗が目立ちます。育苗日数は30日未満でも十分に移植可能です(図2)。育苗日数が長くないように、播種日を遅らせる、移植のスケジュールに合わせては種日を分散させるなどを検討しましょう。管理については換気がポイントになります。JAたいせつで健苗を育成している農家は、出芽揃い後は早くからハウスの肩と裾の換気を徹底しています(写真1)。極端な低温・強風時以外は、可能な限り換気を徹底し、葉や節間が短く、節間が短い苗を目指しましょう。



写真1 健苗(左1)と平均的なJAたいせつの苗。健苗は換気が行われているため、葉と節間が短く、初生葉は黄化していない。

図2 JAたいせつ11戸の苗質調査結果(品種:ゆめぴりか) ※全て最初には種したハウスの苗を移植時に調査



### 温度管理のポイント

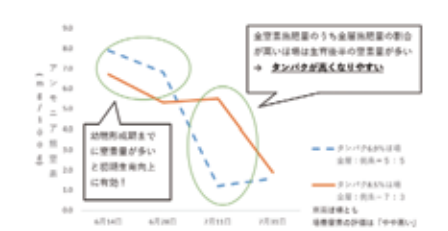
- ・出芽揃いからはハウス内が20〜25℃を超えないように意識する。
- ・夜間は10℃を下回らないようにする。
- ・3葉を超えたら外気に慣らす。

### ・適正施肥

#### 「ゆめぴりか」作付けほ場は適正ですか?

「培養窒素」の数値が高いほ場では、多くの窒素分が土壌から放出されるため、タンパク質含有率が高まる可能性が高いです。「培養窒素」とは、土壌から放出される窒素で、地温が高くなると放出されます。粘土地などの水はけの悪い水田では地温の上昇が遅いため、水稲の生育後半に窒素が放出されることが予想されます。そのため、タンパク仕分けのある「ゆめぴりか」等の品種は、「培養窒素」の低いほ場で栽培することが高品質安定生産への一番の近道です。やむを得ず「培養窒素」が高いほ場で栽培する場合は、生育後半に窒素分を吸収させないよう、全層施肥量を減ら

図3 施肥割合の違いによる土壌中の窒素(アンモニア態窒素)の推移 (R1 鷹栖町、品種:ゆめぴりか、土壌型:灰色低地土)



し、側条施肥量を増やすなどといった側条施肥割合を高めることが有効です(図3)。

「培養窒素」の数値は土壌分析を行えば簡単に把握できますので、施肥設計時や作付け品種検討時に積極的に活用しましょう(表4)。

表4 施肥標準と土壌分析に基づいた窒素施用量(上川中央部)







土壌区分	目標収量	標準施肥量			施肥標準に対する施肥窒素増減量(kg/10a)			
		窒素	リン酸	加里	窒素肥沃度水準区分(mg/100g)			
					低	中位	やや高	高
低地土(乾)	570	9.5	8.0	8.0	~6.0	~10.0	~12.0	~12.0
低地土(湿)	570	9.0	8.0	8.0	~7.0	~15.0	~18.0	~18.0
泥炭土	570	7.5	8.0	8.0	~5.5	~13.0	~15.5	~15.5
台地土	540	8.5	8.0	8.0	~5.0	~13.0	~15.0	~15.0

※全層・側条組合せ施肥を実施する場合の窒素施肥は、側条施肥を3.0〜4.0kg/10a程度とし、総窒素施肥量を表の値から0.5kg/10a減肥する。

タンパク含有率を低下させるには、単に全層施肥量を減らすだけでは達成出来ません。最悪の場合、「タンパク質含有率が下がらず、収量だけ下がる」こともあり得ます。それを防ぐためには、健苗を育成する、側条施肥量、割合を増やす、適期(5月末まで)に適正栽植密度(成苗ポットでは株間13cmほど)で移植する、適正な植え付け深さ(1.5〜2cm)にする、幼穂形成期を把握して深水管理を確実に実行する、中干しや溝きり・心土破砕などの排水対策を実施するといった基本技術を組み合わせることが大切です。

# JAたいせつ

## 令和元年度主要野菜の発育経過と 病害虫の発生状況について

	■ 生育経過 ■	■ 病害虫発生状況 ■
<b>原料トマト</b> 	<p>定植以降の天候が良く下段の着果数が近年に無いほど多かった。しかし中段になると下段の着果負担等の影響で花芽が作られなかったことや、尻腐れ果の発生が多く見られた。出荷量は後半に減少したものの昨年を上回る結果となった。</p>	<p>気温が高く推移したことからアブラムシやコナジラミの発生が例年よりも多く見られたが、生産者の適宜防除により大きな影響は見られなかった。灰色カビ・葉カビは後半に発生が見られたが、例年より発生は少なかった。</p>
<b>きゅうり</b> 	<p>定植後、6月以降天候に恵まれ順調に推移し、6月から7月にかけて出荷量が例年よりあった。しかし7月下旬・8月下旬に成り疲れの影響で収穫ピークがなく、9月以降は低温が続き後半の伸びもなかった、出荷量は例年並の結果となった。</p>	<p>早い段階から、うどんこ病・褐斑病・害虫の発生が見られ、ハダニ・アブラムシの発生も多く見られた。天候の影響により防除やかん水作業などの管理が難しい年となったが、生産者の努力により被害は最小限に留まった。</p>
<b>ししとう なんばん</b> 	<p>定植時期の4月から出荷最盛期の8月まで日照時間がとても多く、生育も順調であったが、降水量が極端に少なく、最盛期直後からなり疲れが多く見られた。出荷量は前年を上回る結果となった。</p>	<p>7月中旬頃より一部圃場でアブラムシ類の発生が見受けられたが、生育に大きな影響はなかった。 長期的な高温と降水量が極端に少なかったため、なり疲れとともに奇形果の発生がみられた。</p>
<b>いちご (けんたろう)</b> 	<p>今年度の収穫開始は例年と同時期であった。日照時間がとても多く、始まりは好調だったが、降水量が極端に少なかったため、出荷終了間際には奇形果や小さい果実の出荷が目立った。 収穫期間は前年と同時期だったが、収量は前年を下回る結果となった。</p>	<p>収穫期の6月頃は、圃場によりハダニ類・アザミウマ類の発生が見られた。</p>
<b>たまねぎ</b> 	<p>定植は平年並みに始まり、6月から好天が続き、干ばつ傾向になった。灌水した圃場は順調に生育し、灌水していない圃場との差があった。全体的に小玉傾向となり収量は減収した。</p>	<p>近年発生の見られなかった白斑葉枯病の発生が多く見られた。ネギハモグリバエや小菌核病の発生等防除が必要な病害虫も増えており、今後も注意が必要である。</p>
<b>アスパラ</b> 	<p>(ハウス) 今年度は例年より早くから高温で、3月下旬からの出荷開始となった。天候も順調で前年以上の出荷となった。 (露地) 日照時間がとても多く、萌芽が促進され短期的な収量もかなり多かったが、降水量が極端に少なく、やや早めの収穫終了となった。 (全体) ハウス・露地を合算した最終的な収量は例年を上回る結果となった。</p>	<p>斑点病の発生は少なかった。一部でヨトウムシ・カメムシ類の発生が見られた。</p>



## 10月24日(木) 青果物生産出荷協議会たいせつ支部 視察研修

旭川青果物生産出荷協議会たいせつ支部では、生産者11名の参加により視察研修を開催し、道総研 花・野菜技術センター(滝川市)と北興化学工業株式会社(滝川市)を訪問しました。道総研 花・野菜技術センターではイチゴ苗の越冬試験の準備や温度管理実験の様子を見学し、北興化学工業では農薬の袋詰め・箱詰め作業を見せていただきました。帰りには、ふかがわの道の駅“ライスランドふかがわ”に立ち寄り有意義な研修となりました。



## 10月23日(水)～24日(木) 青年部3支部合同視察研修

J Aたいせつ青年部東鷹栖支部・鷹栖支部とJ Aあさひかわ青年部北野支部の3支部で青年部3支部合同視察研修が開催され、35名が参加のもとJ A新すながわ・ホクレン本所・北海道大学の3つの視察先で研修を行いました。

J A新すながわでは高品質のゆめぴりか生産への取組みの紹介があり、ゆめぴりか生産部会が独自に憲章を作成し、高品質米生産に向けた厳しい内容となっているといった説明がありました。また、J Aとしても「ゆめぴりかの里」として、様々な活動を通して消費者へのPR活動を行っているとの説明がありました。

ホクレン本所では、柿林副会長より今後の営農に対して激励の言葉をいただいた後に、うるち米を巡る情勢についてと題して、全国の米の情勢についてや北海道米販売の取組み、北海道米プロモーション展開についての説明がありました。

2日目の視察先の北海道大学では、農学部の東山准教授により、たいせつ地域を実際に調査・研究した結果に基づいた産地の意向と地域農業の実態の説明があり、続いて同農学部の岡本准教授により最先端技術を搭載した農業機械の研究についての説明があり、高性能機械の活用による農作業の効率化・省力化について学ぶことができました。

今回の視察研修を通じて、地域農業の現状や課題を理解し、今後のスマート農業化に向けての取組みを理解することによりそれらに対応した農業経営を展開していくことが重要だと感じました。





## 10月25日(金) たいせつ農協東鷹栖年金友の会観楓会



たいせつ農協東鷹栖年金友の会では観楓会を日帰り旅行で企画し富良野へ22名の参加により開催いたしました。

今年の観楓会は富良野の美味しい食材を堪能しようと、買い物がメインの内容で、出発後バスの中では何を買おうかと盛り上がりつつありました。まずはチーズ工房にてチーズの製造室や熟成庫をガラス越しに見学し、直売所にてチーズ、菓子類などを購入いたしました。その後、富良野マルシェにて自由行動後に富良野ワインハウスにて昼食を頂きました。レストランからの景色も絶景で、地元の食材を使用した料理に皆さん口々に美味しいと喜んで、全員が完食しておりました。

午後からの観光先であるワイン工場では時期的に瓶詰め工程は見る事は出来ませんでしたが、樽熟成や年代物の貯蔵ワインを見る事が出

来ました。ワインの試飲も出来て皆さん沢山のワインを購入しておりました。最後に六花亭にて休憩をし、参加者の皆さんが笑顔で旭川に戻ってまいりました。

来年も楽しい観楓会が出来るように計画しますので、多くの方の参加をお待ちしております。

## 10月29日(火) 人事考課者訓練研修会

職員の勤務成績および能力を考課し、人事管理の公正な運営並びに職員の勤務意欲高揚と経営能率向上を図るため、年に一回管理職による職員の人事考課を行っています。

人事考課基準の認識統一と考課手順の理解を深めるために管理職17名が出席し人事考課者訓練研修会を開催しました。

中央会旭川支所から荒岡主査と田中氏を講師に迎え、部下を日頃から行動観察し、日常のコミュニケーションからやる気やチャレンジ意欲を探ることも重要であり、部下に嫌われないため考課を甘くすることや、周りの噂や部下への先入観で考課するエラーを防止する対策も学びました。

後半は3つのグループに分かれ、DVDに登場する職員の行動を観て実際に考課を行い、評価の根拠を話し合いながら統一した見解を導き出す演習を体験しました。



## 10月30日(水)～31日(木) 旭川青果物生産出荷協議会たいせつ支部女性研修会



旭川青果物生産出荷協議会たいせつ支部では、2日間の日程で会員13名の出席を頂き、女性研修会を開催致しました。

1日目は、北見ハッカ記念館の見学後、訓子府石灰工業株式会社にて視察研修を行い、消石灰などの石灰石を材料とした化成品の製造工程について、研修と工場見学を行いました。

研修後は宿泊地である阿寒湖温泉にて参加者それぞれでゆっくりとしたひとときを過ごし、収穫期の疲れを癒して頂きました。

2日目は、十勝方面を経由し土幌町道の駅の直売所見学やナイタイ高原に本年6月にオープンした「ナイタイテラス」を見学し帰路につきました。

旭川青果物生産出荷協議会たいせつ支部では、今後とも会員の技術向上と相互交流を目的に研修会を企画して参りますので、積極的な参加をお願い申し上げます。

また、今回の1泊研修に参加頂きました会員の皆様、大変お疲れ様でした。



## 11月6日 (水) 施設火災に備え自衛消防訓練を実施

本所営農センターにおいて職員による自衛消防訓練を実施しました。

旭川市消防本部指導のもと、平常時に1階給湯室から出火した想定で、消防計画で定めた自衛消防組織の役割担当が、それぞれ初期消火・119番通報・避難誘導を行った上で、建物内から避難しました。

訓練として、やや迅速さに欠けるとの指摘はありましたが、訓練を通して見つかった課題を改善し、実際の火災を想定した訓練を繰り返すことが重要との指導を受けました。

最後に水消火器による消火器の使用体験を行い、参加者の防火意識を高め終了となりました。



## 11月12日 (火) 高まるJAへの期待に応えるためのヒントに ～JA北海道大会実践フォーラム開催～

札幌市においてJA北海道大会実践フォーラムが開かれ、全道各地から約1,000人のJA関係者が参加しました。

JAたいせつからは松原組合長をはじめ6名の役職員が参加しました。

昨年のJA北海道大会で「多様な担い手の確保・育成」「次代につなげる協同組合の価値と実践」などを目指した自己改革の成功事例を取り入れた講演がありました。

日本経済新聞編集委員の吉田氏は、自ら取材した農業を取り巻く情勢やニーズの変化に対応した各地の取組を紹介しながら、差別化やブランド化を進めるためにはJAの役割と期待は大きいと話されました。

また、農林水産省の日向協同組織課長は、農協改革の進捗を評価しながらもこれからは経済事業の収支改善が重要であるため、JA役職員が十分共有し、組合員との協力を強め食糧供給を通じた社会貢献をすることに大きな意義があると強調しました。





## JA北海道中央会



JAグループ北海道は11月14日に東京都にて、「経営所得安定対策の単価改定」と「総合的なTPP等関連政策大綱の見直し」に向け、道内与党国会議員や農林幹部に対する中央要請、並びに農林水産省と意見交換を実施しました。経営所得安定対策では3年に一度の単価改定の見直し議論が行われていることから、輪作バランスや畑作経営に対する影響を考慮し、単価が大きく変動しない単価設定とすることや、各作物の生産振興対策などを求めました。TPP等関連政策大綱の改訂にあたっては、相次ぐ大型貿易協定の発行による、中長期的な北海道農業に与える影響が大きいため、各作物別の需給調整・価格安定対策の充実強化、生産基盤の強化に向けた対策を求めました。

今後、北海道の農家、組合員が安心して営農できるよう取り組んで参ります。



## JA北海道信連



収穫体験や調理体験等の独自イベント、「旬食カレッジ」は今年で4年目となり、今回は一般の女性の方々を対象に、8月、江別市で開催しました。また、全道各JAの協力を受け、今年度から新たに「親子で学ぼう！あぐりキッチン教室」を、全道各地で延べ25回開催しました。これらの食農教育活動を通じて、食や農に対する関心を高め、JA・JAバンクのサポーターを育てる取り組みを行っています。



## JA共済連北海道



JA共済連北海道は、「2019年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクール」の表彰式を10月26日(土)にANAクラウンプラザホテル札幌にて開催しました。46回目を迎える同コンクールは、全道より3,296点の応募をいただき、その中から金賞9作品が選出され受賞されたみなさんが表彰されました。

今回受賞された作品は、さっぽろ雪まつり会場・道庁ホールでの展示等が予定されています。



## ホクレン



ホクレンと北海道米販売拡大委員会は10月17日、北海道産の2019年新米発表会を東京都内で開きました。発表会には鈴木直道・北海道知事とCMキャラクターを務めるタレントのマツコ・デラックスさんらが出席しました。ホクレン内田和幸会長より「今年は、ご満足いただけるおいしい北海道米をお届けできます」とアピールし、マツコさんはステージ上で新米を試食し、「実は一番好きなのがこの『ふっくりんこ』と楽しいトークで盛り上がりました。



## JA北海道厚生連



10月23日(水)ホテルポールスター札幌において、令和元年度北海道福祉のまちづくり賞の表彰式が行われ、JA北海道厚生連特別養護老人ホーム摩周が公共的施設部門の「北海道福祉まちづくり賞」を受賞しました。この賞は福祉的配慮に優れた公共的施設等におくられるもので、福祉・建築・市民活動等の有識者で構成する会にて審査が行われ表彰が行われました。この賞を機に施設としての充実だけでなく、入居者の皆さんの生活の充実に向けて更なる向上を目指したいと思います。



JAグループ北海道の連合会・中央会の活動内容を紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

がんばれ!日本の農業

精進、大地と地域のみらい。JAグループ <https://org.ja-group.jp/>

# 人間ドック受診のススメ

景色も白くなり、いよいよ本格的な冬が到来しました。組合員の皆様にも来年の農作業に備えて冬のうちに自身の健康状態を確認しておくことをおすすめします。ですが冬場お勤めされている方、准組合員の皆様だと平日はなかなか時間が取れない方も多いと思われます。そこで今回は旭川厚生病院で行っている「土曜ドック」についてお知らせします。

## ◎土曜ドックで時間の有効活用を！

土曜ドックの特徴として、とにかく時間がかかりません。午前中の内に検査が終了し帰宅が可能になりますし、定員も1日あたり10名程度（平日は50名程度）なので検査中の待ち時間も短いです。朝早くに病院に行き早い順番を確保する必要もありません。ただし定員が少ないので早めの予約をおすすめします。

## ◎平日とほぼ同じ検査が受けられます！

土曜ドックでも基本項目はもちろんオプション検査も受診可能です。ただし「脳ドック」「胃内視鏡検査」は行っておりませんので、ご希望の方は平日の受診をお願いします。検査項目についての詳細は旭川厚生病院ホームページ、または当JA本所事務所にもチラシを置いてありますのでお立ち寄りの際にご覧ください。

## ◎昼食について

午前中に帰宅できますので昼食はご用意しておりません。そのかわりクオ・カードまたは院内ドトール食事券（いずれも千円分）をお渡ししています。

## ◎検査結果について

検査結果は受診日から一週間ほどで結果書類が届きますので、結果内容で質問等ありましたら電話にて医師・保健師が対応いたします。

## ◎実施日・対象者について

現在は**男性のみ対象**で、**毎月第4土曜日**に実施しています。時期によって実施日に若干の変動がありますのであらかじめご確認ください。

### 人間ドックに係るお問い合わせ先

たいせつ農協 総務課 ☎57-2311  
旭川厚生病院検診センター ☎33-7171 内線2146/2198



農林水産省からのお知らせです。



令和2年2月1日



## 2020年農林業センサス

次代につなぐ豊かな農林業のために、  
農林業の今を知るための統計調査にご協力ください。

オンライン調査も実施しています。

農林水産省

詳細は裏面を  
ご覧ください。

旭川市

調査対象の候補となる方に12月15日から1月31日までに調査員が伺います。

一定規模以上の農地や山林を所有している方に調査票への記入をお願いしますので、ご協力ください。



今の農林業を知ることによって未来を作る、それが農林業センサスです。

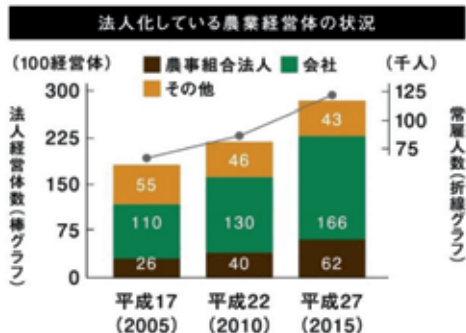
農林業センサスは農林業・農山村の動向を都道府県、市区町村、さらに詳細に、あなたが暮らす地域ごとに明らかにして、「チャレンジする農林業経営者」を後押しする施策や「美しく活力ある農山村」を創り、次世代に継承する施策の企画・立案に活用されます。

農林業センサス(農林業経営体調査)の調査対象は、全国の経営体です。

農林業経営体調査は、農家や林家、会社や集落営農など、農林業を営んでいる全国の様々な農林業経営体が対象となる調査です。



過去の農林業センサスの結果から、例えば、法人経営の進展や雇用の状況などといった、農業経営の現状を知ることができます。



法人経営体数はこの10年で40%以上増加し、法人による常雇いの雇用者数も70%以上増加するなど雇用の拡大につながっています。



あなたの答えで未来の農林業を支えましょう!

皆さんにご協力いただいた調査結果は、食料・農業・農村基本計画の策定や、農林水産業・地域の活力創造プランに基づく各種農林業施策の推進・評価などに広く活用されます。

農林業センサスの詳細な結果は農林水産省のホームページをご覧ください!

<http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/2020cp/>



また、農林水産省では地域農業に関するデータを提供しています。

わがマチ・わがムラ - 市町村の姿 -

都道府県や市区町村ごとの農林水産業の統計データ検索やランキング表示ができます。

<http://www.machimura.maff.go.jp/machi/>



地域の農業を見て・知って・活かすデータベース

農業集落を単位とした統計データにより、地域に密着した分析を行うことが出来ます。

[http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku\\_data/](http://www.maff.go.jp/j/tokei/census/shuraku_data/)



あなたの個人情報等は法律で守られています。

農林業センサスは統計法に基づく基幹統計調査です。調査内容は、統計の作成、統計的研究及び各種統計調査の名簿作成といった統計法に定められた目的以外に使うことを法律で禁じられていますので、調査の結果が税金の徴収などに使われることは一切ありません。また、統計調査員をはじめ、統計調査に従事する者には守秘義務があり、調査で知り得た情報を他人に漏らすこともありません。

ご協力をお願いします!



# 収穫感謝オートムキャンペーン！

## 第3弾 教育ローンキャンペーン



**JA教育ローン**

変動金利型  
年 **1.45%** 令和元年12月1日現在

固定金利型  
年 **1.20~1.60%**

キャンペーン期間 令和元年12月2日~令和2年1月31日

期間中ご成約いただいた方には  
**「新米2kg」**を  
もれなく進呈！  
お気軽にご相談下さい！



### キャンペーン適用要件

- 令和元年12月2日~令和2年1月31日までにお申込いただき令和2年2月28日までに当JA教育ローンをお借り入れいただける方

※表示金利は、令和元年12月1日時点のもので変動金利についてはキャンペーン期間中、金融情勢等の変化により見直しさせていただく場合があります。

※変動金利の場合はお借入れ後の利率は基準日(4月1日および10月1日)の基準金利により、年2回の見直しを行います。

※審査の結果、ローン利用のご希望に添えない場合もございますので、ご了承ください。

※店頭にて返済額の試算を承っております。

※JA教育ローンをご利用中に、繰上返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途JA所定の手数料が必要となります。

※ローン商品の詳しい内容については、店頭にて説明書をご用意しております。

※ご返済の滞りなどが発生した場合には、引下げ後金利の適用を中止し、店頭標準金利に引き上げさせていただきます。

### JA教育ローンの商品概要

- ご利用いただける方
- お借入れ時の年齢が満20歳以上で最終償還時の年齢が満71歳未満の方
  - 前年度税込年収が200万円以上ある方(自営業者の方は前年度税引前所得、農業者の方は150万円以上)
  - 当JAが指定する保証機関の保証が受けられる方

- お使いみち
- 就学されるご子弟の教育に関するすべての資金(借入申込日から2か月以内にお支払済の資金を含む。)とし、資金使途の確認可能なもの。  
《例》・教育施設へ支払う入学金、授業料、学費  
・アパートの家賃等

- 教育ローンのお借換資金とお借入れに伴う諸費用。

- お借入金額
- 10万円以上1,000万円以内(所要金額の範囲内)

- お借入期間
- 最長15年以内(在学期間+9年)以内

- ご返済方法
- 元利均等返済(月払方式またはボーナス月増額返済併用方式)

- 担保・保証人
- 担保:不要です。

- 保証:当JAが指定する保証機関の保証をご利用いただきますので、原則、保証人は不要です。

本所:旭川市東鷹栖1条3丁目635番地の58

金融課 TEL0166-57-2311

鷹栖支所:上川郡鷹栖町北1条1丁目1番4号

鷹栖支所管理金融課 TEL0166-87-2121



「JAとのお取引はこれから」というお客さまもお気軽にお問い合わせ・ご相談ください。(ご利用に関しては、組合員加入のための出資が必要となります。)

JAたいせつ

2019

11月1日(金)

12月30日(月)

ゆめ  
ゆめ

定期貯金  
キャンペーン!!



10万円以上の新規または増額

組合員の方

正組合員・准組合員・新規組合員加入の方

1年定期

3年定期

店頭金利

×3倍

組合員以外の方

1年定期

3年定期

店頭金利

×2倍

金利上乘せにかえて、  
農産物をご希望の方は

お米  
プレゼント

3年定期  
組合員を対象

(正組合員・准組合員・新規組合員加入の方)

200万円毎

5kg  
(ゆめぴりか)

※お米の引き渡し前に中途解約されますとお米プレゼントは適用されません。  
※金利は店頭金利となります。

対象商品「スーパー定期貯金及び大口定期貯金」

●預入期間は1年・3年とさせていただきます。●ご契約いただいた定期貯金は「自動継続扱い」とさせていただきます。満期日以降は上乗せ金利が適応されませんのでご注意ください。●期日前に中途解約されますと、お預入日から中途解約日まで所定の中途解約利率が適用となりますのでご注意ください。●お利息に20.315%（国税15.315%、地方税5%）の分離課税となります。●個人の方に限らせていただきます。●本定期貯金は貯金保険制度の対象となり、同制度の範囲内で保護されます。●商品の説明書は、店頭にお申し出ください。

組合員へは出資と一定の条件によりご加入いただけます。詳細につきましては窓口までお問い合わせください。

JAたいせつ

【本所】☎57-2345 【鷹栖支所】☎87-2121



## 理事会からのご報告

令和元年十月十八日第七回理事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 一、規約の一部改正について  
原案通り承認決定されました。
- 二、定款第五十七条三項による組合と理事の契約承認について  
理事に対する貸付一件について承認決定されました。
- 三、組合員持分譲渡承認について  
相続による譲渡二件について承認決定されました。

## 監事会からのご報告

令和元年十月十八日第七回監事会で次の案件について協議し承認決定されました。

- 一、令和元年度期中自治棚卸監査  
ご報告  
原案通り承認決定されました。



## 「たいせつ」のあゆみ

11月

- 11月1日 労働安全衛生委員会・企画会議
- 11月6日 自衛消防訓練
- 11月8日 採種組合視察研修会  
9日
- 11月12日 J A北海道大会実践フォーラム
- 11月18日 みのり監査法人期中Ⅱ監査 20日
- 11月20日 部長会議・コンプライアンス委員会
- 11月22日 第8回理事会・第8回監事会
- 11月29日 購買部棚卸



## たいせつ農産物直売所 12月のイベントのお知らせ



7日(土)～  
8日(日)

### 大感謝祭フェア

毎年恒例「餅つき体験&試食会」  
“きなこ餅”と“大根おろし餅”の試食を行うほか、店内調理の温かいお雑煮とおしるこを数量限定販売予定！  
つきたてのお餅を味わえるのは、この2日間だけです！！

21日(土)

### たかす牛肉フェア

鷹栖町の新田ファームで生まれ育ったこだわりの牛肉(交雑牛)を大特価で販売！  
サーロイン・肩ロース・バラ肉・モモ肉など豊富な種類が並ぶ予定です。  
ステーキ、すき焼き、しゃぶしゃぶ等にいかがでしょうか？  
かまぼこなど、お正月に向けた商品も販売予定！！

たいせつ農産物直売所 旭川市東鷹栖1条3丁目635番地の15 ☎ 57-2141  
営業時間 / 10:00 ~ 17:00 定休日 / 毎週月曜日

## 鷹栖町役場内設置ATM閉鎖のお知らせについて

日頃より当組合を御利用いただき御厚情のほど、心より御礼申し上げます。  
さて、鷹栖町役場庁舎内に設置しております当組合ATMにつきまして**令和2年3月31日(火曜日)**をもちまして閉鎖する運びとなりました。  
長年にわたり、ご利用いただき厚くお礼申し上げます。  
なお、閉鎖後は、当組合鷹栖支所内ATMをご利用いただきますようご案内申し上げます。